

## OpenFOAM コントリビュート活動

松原 大輔<sup>1†</sup> @public\_inabower<sup>2</sup> @tkoyama010<sup>2</sup>

<sup>1</sup> オープン CAE 勉強会 <sup>2</sup>OpenFOAM-jp

## OpenFOAM Contributing Activities

Daisuke MATSUBARA<sup>\*†</sup> @public\_inabower<sup>\*\*</sup> @tkoyama010<sup>\*\*</sup>

<sup>\*</sup>OpenCAE Local user group <sup>\*\*</sup>OpenFOAM-jp

### Abstract

The quick brown fox jumps over the lazy dog. The quick brown fox jumps over the lazy dog. The quick brown fox jumps over the lazy dog. The quick brown fox jumps over the lazy dog. The quick brown fox jumps over the lazy dog. The quick brown fox jumps over the lazy dog.

**Keywords:** Keyword1, Keyword2, Keyword3, Keyword4, Keyword5

### 1. 原稿について

#### 1.1. 様式

- 用紙：A4 です。
- 余白：上下 25mm, 左右 20mm です。英文概要とキーワードの行は、さらに左右 6.5mm の余白を設けてください。
- 段組：1 段組です。
- 頁数：最小 1 ページ, 最大 10 ページ, 標準 2~4 ページとします。

#### 1.2. 本文

- 言語：日本語または英語です。
- 句読点：本文が日本語の場合、句読点として、全角の読点「、」（カンマ）と句点「。」（ピリオド）を用いてください。
- 段落最初の行の字下げ：1 文字です。
- 題目・所属
  - 本文が日本語の場合、日本語での題目、著者名と所属の記載に続けて、英語でも同内容を記載してください。
  - 本文が英語の場合、英語の題目および著者名と所属のみ記載ください。
- 英文概要：40 から 80 ワード程度で記載ください。なお、英文概要は省略しても構いません。
- キーワード：講演内容を良く表すキーワードを最低 3 語、通常 5 語程度選定し、英語で記入ください。
- 字体
  - 本文：明朝体・Serif 系（Cambria, Times New Roman, Latin Modern など）を使用してください。
  - 題目・著者名・所属・見出し・図表キャプション：ゴシック体・Sans-serif 系（Calibri, Arial, Latin Modern Sans など）を使用してください。キーワードの見出し（Keywords）は Sans-serif のイタリック体を使用してください。
- 文字の大きさ
  - 題目：14 ポイント
  - 副題・大見出し：12 ポイント
  - ヘッダ・フッタ・付録におけるコード引用：8 ポイント
  - 上記以外（本文・著者名・所属・Abstract・キーワード・図表キャプション・大見出し以外の見出し・

<sup>†</sup> E-mail address of corresponding author: office@opencae.or.jp

ページ番号など) : 10 ポイント

- 参考文献

- 参考文献は、本文中の引用箇所の末尾に角括弧をつけた番号で表し、本文の末尾にまとめて列記してください [1, 2]. また, URL にはアクセス日付を明記してください [3].

### 1.3. 図表

- 言語：図表中の記号およびキャプションは英語とします.
- 字体・文字の大きさ：明瞭である限り、図表中の字体や文字の大きさは任意です.
- 本文中での参照：図 1, 表 1などと記載してください.



Fig. 1 Logo of the Open CAE Society Japan.

## 2. 原稿提出について

- ファイル形式：PDF 形式で提出ください.
- ファイルサイズ：最大 20MB です.
- フォント：提出される PDF ファイルに全てのフォントが埋め込まれている事を確認ください.
- URL：リンクを付加してください. また, 可能であれば, 図表の参照についてもリンクを付加してください. リンクされた文字は青色としてください.
- 提出方法：オープン CAE シンポジウム 2018 の WEB ページ [http://www.opencae.or.jp/activity/symposium/opencae\\_symposium2018/](http://www.opencae.or.jp/activity/symposium/opencae_symposium2018/) をご参照の上, 提出してください.

## 3. お問い合わせ

ご不明点については, お手数ですが, 表 1 のシンポジウム事務局まで, 電子メールでお問い合わせください.

|                |  |
|----------------|--|
| E-mail address | <a href="mailto:symposium2018@opencae.or.jp">symposium2018@opencae.or.jp</a> |
|----------------|--|

Table 1 Secretariat of the Open CAE symposium 2018

## 参考文献

- [1] 西剛伺, 今野雅. 熱伝導問題に関する OpenFOAM の固体・流体熱連成定常解析ソルバの妥当性確認. オープン CAE 学会論文集, Vol. 1, No. 1, 2018. OpenCAE2018-001, [http://www.opencae.or.jp/wp-content/uploads/2018/02/OpenCAE2018\\_001.pdf](http://www.opencae.or.jp/wp-content/uploads/2018/02/OpenCAE2018_001.pdf), (accessed 2018-09-14).
- [2] オープン CAE 学会. OpenFOAM による熱移動と流れの数値解析. 森北出版, 2016. <http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB21459576>, (accessed 2018-09-14).
- [3] 独立行政法人科学技術振興機構. 科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方 SIST 02-2007, 2007. <http://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST02-2007.pdf>, (accessed 2015-09-29).

## 付録 A コードの引用表示例

コードの引用表示例を [Code 1](#)に示す.

Code 1 Header of OpenFOAM-jp\_OpenCAE\_symposium.tex.

---

```
1  %%%
2  %%% OpenCAEシンポジウムTeXテンプレートファイル
3  %%% OpenFOAM-jp_OpenCAE_symposium.tex
4  %%% OpenCAEシンポジウム2018版
5  %%%
6  %%
7  %% ltjocはOpenCAE論文集・シンポジウム用のクラスファイルです. 変更しないでください.
8  %% 本文が英語の場合には, オプションにenglishを指定してください.
9  \documentclass{ltjoc}
10 %\documentclass[english]{ltjoc}
```

---